



2023

Environmental Activity Report  
環境活動報告書

## ごあいさつ

### 地球のために 私たちが果たすべき責任と役割

私たちアルプス薬品工業は、医薬品原料の製造において、環境負荷の削減に努め、廃棄物の削減やリサイクル化、省資源・省エネルギーの推進活動も積極的に行っております。

また、国内外の環境に関する法規制及び当社が受け入れた要求事項を順守し、地域社会とのコミュニケーションを図るなど、当社の環境方針に従い、社会に対する責任を果たすべく取り組んで参ります。

特に事業において多種多量の生薬原料を使用するため、原料の資源枯渇の防止、また海外においては現地での雇用を生み出すため、自社栽培に積極的に取り組んでいます。

今年度、トウガラシにつきましては、品種の切り替えを実施し、より多くの辛み成分を含むことにより、製造工程の短縮と効率化が期待できるものと考えております。

世界的に環境問題への関心が高まっている現在、環境・健康・安全への配慮を経営上の重要課題とらえ、健康・安全面では、従業員の健康増進等に積極的に取り組み、優良な健康経営を実践している法人として、「健康経営優良法人 2023（大規模法人部門）ホワイト500」に認定されました。

環境面では、リスク改善を全社的に進め、広い視野に立った環境保全活動に努めています。SDGs やカーボンニュートラルの思想に基づき、弊社が果たすべき責任と役割を認識し、環境保全活動を経営課題の一つとして取り組んで参ります。



代表取締役社長 牛丸 理

## 企業理念

### Mission

#### ALPS の使命・存在意義

医薬品メーカーとしての自覚と誇りを持ち、最良の技術で、お客様にとって最高の製品を提供し世界に貢献する

### Vision

#### ミッションをはたすための組織のあるべき姿

世界に誇れるALPS独自の価値を創造する

### Value

#### ビジョン実現のため、大切にする価値観

1. 常に向上を目指し、自律的に行動する
2. 社会の視点・お客様の視点を大切にする
3. 現場・現物・現実にもとづき、本質を見極める
4. 失敗や変化を恐れず、チャレンジする
5. 議論とチームワークを大切にする
6. コンプライアンス、安全操業を徹底する
7. 従業員の成長を促し、幸福度を高める
8. 会社の成長を通じて、地域社会に貢献する

## 環境方針

アルプス薬品工業では、処方改良による環境負荷化学物質の削減や原料の枯渇を防ぐための自社栽培等、環境影響の継続的改善と環境汚染の予防に取り組んでいます。

1. アルプス薬品工業株式会社は、医薬品メーカーとして最良の技術で最高の製品を生産し、お客様に提供するため、環境影響に十分配慮し、継続的な環境負荷削減に努力いたします。
2. 国内外の環境に関する法令及び当社が受け入れた要求事項を順守し、事業活動を行います。
3. 環境保護のため、自主的な各種活動を継続して実施します。
4. 事業活動において生産性の向上を行い、廃棄物の発生の低減、リサイクル化、省資源省エネルギーの推進を行い、環境負荷の低減を図ります。
5. 環境リスクアセスメントにて環境リスクを把握し、環境管理の継続的な計画・実施・改善など、環境リスクマネジメントシステムの運用を通じて、環境リスクの低減活動を継続的に行います。
6. 生物多様性及び生態系の保護のため、自主的に各種活動を継続して実施します。
7. 地域社会との対話を図り、環境情報を適切に開示し、社会とのコミュニケーションを図ります。
8. 環境に関する教育訓練を充実し、自ら環境影響を考え行動する従業員を育成します。
9. 環境方針は、当社の全社員及び協力会社にも周知徹底し、社外へも公開します。

## 安全衛生環境保護推進組織図



## アルプス薬品工業の活動

当社では主に、医薬品原料を製造し、エネルギーや原材料の消費や廃棄物の排出等でさまざまな環境負荷をかけています。そのことを認識し、全社的にリスク改善活動を推進し、環境負荷の削減にも取り組んで事業活動を行っています。

2022年度実績



## 環境活動紹介

原料調達において「購買取引基本方針」を制定し、サステナブルな原料調達の実現を目指すとともに飛騨を中心とする各地で栽培事業に取り組んできました。また周辺環境への環境リスクの低減にも力を入れ、臭気対策・粉塵対策にも取り組んでいます。エネルギーの省エネ活動としては、2022年度より2025年度に向けて原単位比3%削減の目標に向けて具体的な施策を設け全社一丸となって取り組んでおります。

### <トウガラシ栽培(栽培地:岐阜県)>

当社は、長年にわたりトウガラシを原料として抽出、精製し、100%天然由来の製品『商品名:カプサイシン』を製造販売しており、その世界シェアは第1位を誇っています。トウガラシの辛み成分(カプサイシノイド)は、温湿布などの血行改善によって痛みを緩和する医薬品活性成分(API)として、世界中で使用されています。

従来、当社は原料用トウガラシを海外から輸入していましたが、長年の研究により品種改良に成功し、医薬品原料の安全性確保と地域社会への貢献を目的として、本社が所在する飛騨地域での栽培と量産に取り組んで来ました。

多くの生産者が休耕地や水田転作後にトウガラシを栽培しており、地元の中山間地域において耕作放棄地の増加を防ぐ一翼を担っています。また、生産者は加入する出荷組合との取り決めに従い、使用可能な農薬は限定されており、環境への影響が最小限となるよう配慮された栽培が行われています。

2023年からは、より多くの辛み成分を含むトウガラシ品種へと切り替えました。このトウガラシを原料として製品を製造することにより、製造工程の短縮と効率化(抽出回数及び溶媒等の削減)が期待でき、燃料及び電力の低減による省エネルギー、製造の過程で排出される温室効果ガス及び産業廃棄物の減少といった、環境負荷の低減へと繋がります。

わたしたちは今後も、環境にやさしいトウガラシの栽培とトレーサビリティの確立された安全な医薬品を社会に提供し続けます。また、トウガラシの栽培による高齢者の生きがいサポートや地域活性化への貢献にも努めていきます。

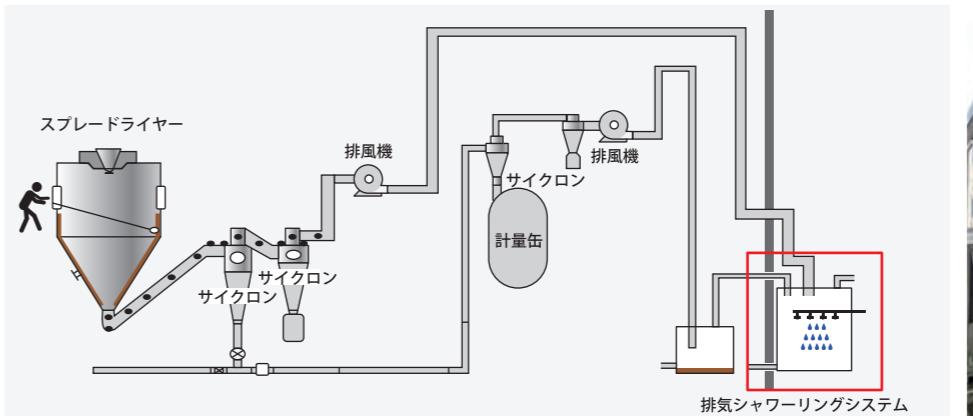


## 環境活動紹介(環境リスク低減活動)

### <富山工場 スプレードライヤー乾燥設備の排気粉塵対策>

富山工場で、製造工程の乾燥設備において乾燥後の粉体製品の詰まり(エラー)により、粉体製品が排気ラインより工場屋外に放出される環境リスクの懸念がありました。今期、リスク低減対応として乾燥設備の排気ラインの最終出口にシャワーリングシステムを導入しました。これによりエラー発生時にも大気への放出が発生しない対策を実施し、乾燥設備の排気をシャワー・ノズルで常時洗浄することでサイクロンで乾燥粉末が捕集できなかった場合でも、このシステムによりクリーンな排気を大気へ放出します。

【乾燥設備フロー】



【排気シャワーリングタンク】



### <上野工場 臭気(粉塵)対策>

上野工場の生薬末の原薬製造プラントにおいて数年前より臭気への対策を検討し、今期設備改善を実施する事で臭気を低減する事ができました。臭気の原因は乾燥した生薬原料を特殊な製法で粉碎した際に発生する微粒子が粉碎装置の排気ラインよりプラント屋外に排出されることにより発生していました。

この改善のため、今期当社では水流式環境改善装置を導入いたしました。プラント内で発生する微粉塵を装置に集合させ水流で微粉末を含む排気を洗浄する事でクリーンな排気を排出します。洗浄水は汚れるため水の入れ替えが必要となります。特許取得の紫外線促進酸化装置で汚れを分解させることで水の使用量を抑制し、従来のスクラバー式装置よりも少ない水量で集塵される環境に優しい装置です。

導入後のマーカーテストでは粉塵除去率88%～96%の効果を確認する事ができました。

テスト結果より、除去後の臭気指数は26～30であり、2号基準(当該施設の臭気指数33以下)を下回る結果を確認することができました。下記の臭気改善前後のイメージ図より、当初は赤実線円(発生源より半径200m)まで到達していた可能性がありましたが、現在は赤点線円(半径50m)までとなり、ほぼ工場敷地内で抑え込む事ができました。

【水流式環境改善装置】



【紫外線促進酸化装置】



【臭気改善前後のイメージ図】



改善前臭気到達: 赤実線円(発生源より半径約200m)  
改善後臭気到達: 赤点線円(発生源より半径約50m)

